

平成 26 年度「ふじのくに新エネルギー等導入倍増プラン」進捗評価書<概要>

■ 新エネルギー等導入率

- ・新エネルギー等は、太陽光発電が昨年度から倍増するなど全体を牽引し、導入量が拡大した。最終エネルギー消費量は減少しており、こうした結果、新エネルギー等導入率は、平成 25 年度末時点で 7.8%となり、目標の達成に向けて、全体としては着実に推移している。
- ・バイオマスや中小水力、天然ガスコージェネレーションについて、導入拡大に遅れが見られる。

<数値目標の達成状況>

項 目	H21 年度 (基準年度)		H25 年度 (現状)		H25 年度 (中間目標)		H32 年度 (目標)			
	原油換算 (万 k1)	設備容量 (万 kW)	原油換算 (万 k1)	設備容量 (万 kW)	原油換算 (万 k1)	設備容量 (万 kW)	原油換算 (万 k1)	設備容量 (万 kW)		
新 エ ネ ル ギ ー	太陽光発電	2.43	9.94	13.30	54.34	10.4	42.5	26.9	110.0	
	太陽熱利用	5.96		6.92		8.0		12.0		
	風力発電	2.02	4.51	6.44	14.41	6.4	14.4	8.6	20.0	
	バイオ マス	発電	2.23	2.16	2.23	3.04	3.0	3.0	4.0	4.0
		熱利用	3.99		4.49		5.0		8.0	
	中小水力発電	1.17	0.95	1.28	1.04	1.6	1.3	2.3	1.9	
	温泉熱発電	—	—	0.0004	0.0003	—	—	0.1	0.1	
利 高 用 度	天然ガスコージェ ネレーション	39.48	45.01	36.09	41.14	54.0	61.0	79.0	90.0	
計		57.27	62.57	70.75	113.97	88.4	122.2	140.9	226.0	
最終エネルギー消費量		968.39 万 k1		909.54 万 k1		1,064 万 k1		1,082 万 k1		
新エネルギー等導入率		5.9%		7.8%		7%以上		10%以上		

※ H25、H32 の最終エネルギー消費量は、H19 年度（2007 年度）の実績を元に推計

※ 太陽光発電は平成 24 年度及び 25 年度、風力発電は平成 24 年度に導入目標を上方修正

※ H25 の最終エネルギー消費量は、H24 の消費量（暫定値）による暫定値

(参考) 新エネルギー等による電力自給率の推移 (試算)

	21 年度	22 年度	25 年度
新エネルギー等発電電力量(百万 kWh)	3,145	3,203	3,614
県内電力需要量(百万 kWh)	30,110	31,903	29,902
電力自給率(%)	10.4	10.0	12.1

■ 省エネルギーと温室効果ガスの削減

(1) エネルギー消費量

- ・最終エネルギー消費量はプラン策定時の将来推計を下回って推移しており、平成 19 年度から平成 24 年度までの 5 年間で 13%減少した。製造業部門で 29%減少した一方、家庭部門、業務部門では増加している。

(2) 温室効果ガスの排出量

- ・温室効果ガス排出量(平成 23 年度)は、基準年(平成 2 年度)から 16%減少し、中間目標(平成 25 年度までに 13.6%減少)を上回って減少している。

(3) 今後の方針

- ・地域内でエネルギーの需給バランスを制御するスマートコミュニティの形成や、公共的空間の緑化など、低炭素型の地域づくりに取り組む。
- ・県民運動「ふじのくにエコチャレンジ」の拡充など、県民一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルの確立を図る取組を進める。
- ・温室効果ガス排出削減計画制度の拡充やエコアクション 21 の導入促進など、環境と経済を両立するビジネススタイルの普及のための取組を進める。
- ・家庭や事業所の省エネ化を支援する人材の育成や環境教育など、地球温暖化防止に向けた取組を実践する人材の育成を行う。

■ 新エネルギー等の導入

(1) 進捗評価

※ ()は当初目標に対する比率

		基準比	目標比	進捗評価
太陽光発電		546.7	49.4 (181.1)	<ul style="list-style-type: none"> 固定価格買取制度などにより導入が活発化しており、目標達成に向け順調に増大している。(プラン策定後、目標を上方修正) 住宅への普及率は約5%(全国11位)であり、普及拡大の余地がある。
太陽熱利用		116.1	57.7	<ul style="list-style-type: none"> 徐々に導入が進んでいるが、目標達成には一層の進捗が必要。太陽光発電などとの競合といった課題がある。 導入件数は、平成24、25年度と2年連続で全国1位となった。
風力発電		319.5	72.1 (102.9)	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者による工事等が進んでおり、順調に進捗している。(プラン策定後、目標を上方修正) 都道府県別の導入量は全国第6位となっている。
バイオマス	発電	140.7	76.0	<ul style="list-style-type: none"> 導入量は現在停滞している。 木質バイオマス発電の計画や食品残渣等を活用する取組が行われているが、収集・運搬や初期投資コスト等の課題がある。
	熱利用	112.5	56.1	<ul style="list-style-type: none"> 導入量は現在停滞している。 木質ペレット等の活用拡大や材料の収集・運搬、初期投資コスト等の課題がある。
中小水力発電		109.5	54.7	<ul style="list-style-type: none"> 農業水利施設やダム等の管理用水路への導入が進められているものの、進捗は遅れている。 関係者との調整や設備の維持管理等の課題がある。
温泉熱発電		—	0.3	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度、県内初の小規模発電設備が運転を開始した。 温泉資源に関する関係者との調整やスケール対策等の課題がある。
天然ガス コージェネ レーション		91.4	45.7	<ul style="list-style-type: none"> 基準年度から減少し、進捗が遅れている。経営環境の変化や燃料価格の上昇等により、工場における設備の更新・投資が控えられている。 富士・富士宮における電気や熱を地域内で有効利用する仕組みづくりでは、電力流通事業を担う体制整備などが進んでいる。

(2) 今後の施策展開

①太陽光発電

- 引き続き、太陽光発電の導入拡大に取り組む。設置に係る相談や情報提供体制を確保し、一層の普及促進を図る。

②太陽熱利用

- 引き続き、太陽熱利用設備の導入を促進する。太陽熱利用の特長に関する理解や認知度の向上を図り、県民や事業者に対する普及啓発活動を強化する。

③風力発電

- 小型の風力発電について、県内事業者による製品開発の促進とともに、導入事例の紹介、設置・運転状況に関する情報の提供により普及を促進する。

④バイオマスエネルギー

- 恵まれた森林資源等を活用し、木質バイオマスなどのエネルギー利用の導入を促進する。
- バイオマス利用に関する取組が県内各地で行われるよう、事業化を促進するための支援を行う。

⑤中小水力発電

- 農業水利施設やダム等の管理用水路等を活用した導入を進めるとともに、民間事業者による発電事業や製品開発の実証試験など、市町と連携して小水力発電の普及を促進する。

⑥温泉熱発電

- 伊豆半島地域において、市町と連携し、温泉熱発電をはじめ、環境に配慮したエネルギー利用を進める地域としての取組を促進する。

⑦天然ガスコージェネレーション

- 富士・富士宮地域の取組の中で、中小の製紙工場が近接する地域に天然ガスコージェネレーションを導入し、エネルギーを共同利用する取組の促進を図る。